

東北メディカル・メガバンク機構(ToMMo)倫理委員会
議事要録

【日時】2015年4月20日(月)16:00~18:30

【場所】東北メディカル・メガバンク棟3階 小会議室1

【出席者】呉委員長

長神、菊谷、境田、松居、山崎、森口、福與、高橋、石垣、小川、三代
の各委員

【欠席者】中谷委員

【新委員紹介】

議事に先立ち新委員の紹介を行った。

・森口、小川、三代の3名

【議事】

1. 倫理委員会(平成27年3月16日開催)議事要録の確認について
委員長から、事前に配付した議事要録(案)について説明の後、諮り、承認された。
2. 持ち回り審査について
委員長から、持ち回り審査の結果について報告した。
 - 1) 受付番号2015-1
実施責任者:長崎 正朗教授(ゲノム解析部門・バイオメディカル情報解析分野)
課題名:ToMMo 参照ゲノムパネルを利用したGWAS 解析後の希少変異推定の共同
研究
判定:承認する
3. ヒトを対象とする医学の研究及び臨床応用についての倫理審査の申請について
 - 1) 受付番号2015-2
実施責任者:峯岸 直子教授(バイオバンク部門・バイオバンク生命科学分野)
課題名:ヒト末梢血由来細胞における酸化ストレス応答の解析
判定:条件付きで承認する
主な審議の内容:
 1. 本研究内容と承認済の課題「東北メディカル・メガバンク事業における多層オ

ミックス解析のための予備的研究」との関係について議論が行われ、既存試料の利用部分と、新規に検体提供を依頼する部分を明確にして記述し直すことが求められた。

2. 新規に採取する検体が連結不可能匿名化するならば、保管後の試料の扱いを含め、同意後の撤回は難しく、その旨を同意書にきちんと明記することが求められた。

2) 受付番号2015-3

実施責任者：布施 昇男教授（ゲノム解析部門・バイオマーカー探索分野）

課題名：全ゲノム配列解析による緑内障関連多型の解析

判定：承認する

主な審議の内容：

1. 申請書、計画書等において対象者の年齢制限を明確化し、16歳以上であれば代諾のみならず本人同意を取得することを明確に書くことが求められた。

2. 研究協力者として、患者の家族の範囲と人数を明確に記載することが求められた。また、対照となる方々においては、家族にも罹患歴がないことの記載を追加することとされた。

3. カルテ情報、検査結果等の利用がある場合にはそれら全てを記載することが求められた。

4. 説明同意をとってからの試料の流れ、及び、各機関の役割と本学の役割についての記載の明確化が求められた。

5. 解析結果の開示方法について、記載を詳細にするよう求められた。

4. 「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針ガイダンス」一部改訂について
倫理指針ガイダンスが3月31日付で一部改訂されたことの報告があった。

5. 委員の追加について

圓増文助教（医学系研究科）を、新たに委員とすることについて説明の後、諮り、承認された。

以上